

平成 29 年度 社会福祉法人田子町社会福祉協議会事業報告書

多様化、複雑化する福祉課題に対し、地域で課題を受け止め解決する力が求められる今日、本会では平成 29 年度に第 3 次田子町地域福祉活動計画を策定し、住民ひとりひとりが地域の課題を見出し、その解決に向けた取り組むべき方向性を示しました。

また、今年度は社会福祉法の改正によって、社会福祉法人には組織運営のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上等により公益性・非営利性が一層求められ、本会においても役職員の資質向上と事務事業の見直しを進めながら運営基盤の強化を図るとともに、介護保険事業を始めとする福祉サービスにおいても個人の尊厳や自立を基本とし、利用者のニーズに対応したサービスの提供に努めました。

1. 適正かつ能率的な運営と健全な経営の確保

(1) 理事会及び評議員会等の開催

理事会・監査会・評議員会並びに各委員会を開催し社協事業の円滑な運営に努めました。

また、正副会長会議と幹部会議(事務局長、事務局次長、所長、主任等)を開いて介護保険事業並びに社協の事業についての情報の共有化を図り経営の健全化に努めました。

<理事会の開催 4 回>

○第 1 回理事会

日 時	平成 29 年 6 月 8 日(木) 午後 3 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第 1 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会定款細則の全部改正について 議案第 2 号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 議案第 3 号 平成 29 年度一般会計補正予算(第 1 号)について (監査報告) 議案第 4 号 平成 28 年度事業報告書の承認について 議案第 5 号 平成 28 年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第 6 号 財産の処分について 議案第 7 号 理事及び監事の選任の提案について 議案第 8 号 平成 29 年度定時評議員会の招集について

○第 2 回理事会

日 時	平成 29 年 6 月 26 日(水) 午後 4 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第 9 号 会長の選定について 議案第 10 号 副会長の選定について 議案第 11 号 顧問の委嘱について 議案第 12 号 苦情解決責任者の選任について 議案第 13 号 第三者委員の任命について 議案第 14 号 社会福祉推進委員の委嘱について 議案第 15 号 田子町地域福祉活動計画策定委員の委嘱について 議案第 16 号 田子町社協指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 議案第 17 号 田子町社協指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について 議案第 18 号 田子町障害者居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 議案第 19 号 田子町老人デイサービスセンター運営規程の一部改正について

○第3回理事会

日時	平成29年12月14日(木) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	報告第1号 会長の職務執行状況について 報告第2号 社会福祉法人に係る指導監査について 議案第20号 平成29年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第21号 田子町社協指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 議案第22号 田子町社協指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について 議案第23号 田子町障害者居宅介護事業所運営規程の一部改正について 議案第24号 評議員会の招集について

○第4回理事会

日時	平成30年3月14日(水) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	報告第3号 会長の職務執行状況について 議案第25号 平成29年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第26号 平成30年度事業計画について 議案第27号 平成30年度一般会計予算について 議案第28号 評議員会の招集について

<評議員会の開催3回>

○定時評議員会

日時	平成29年6月26日(月) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	議案第1号 報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 議案第2号 平成29年度一般会計補正予算(第1号)について (監査報告) 議案第3号 平成28年度事業報告書の承認について 議案第4号 平成28年度計算書類及び財産目録の承認について 議案第5号 理事及び監事の選任について

○第2回評議員会

日時	平成29年12月21日(木) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	報告第1号 社会福祉法人に係る指導監査について 議案第6号 平成29年度一般会計補正予算(第2号)について

○第3回評議員会

日時	平成30年3月23日(金) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	議案第7号 平成29年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第8号 平成30年度事業計画について 議案第9号 平成30年度一般会計予算について

<監査会の開催 2回>

○第1回監査会

日時	平成29年5月29日(月) 午後1時
場所	せせらぎの郷 会長室
内容	平成28年度法人運営並びに事業実施状況について 平成28年度会計処理状況について

○第2回監査会

日時	平成29年11月22日(水) 午後1時
場所	せせらぎの郷 会長室
内容	平成29年度上半期(4月~9月)会計処理状況について

<苦情処理委員会 1回>

日時	平成29年9月4日(月) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	苦情解決の流れについて 平成28~29年度の状況報告について

<正副会長会議>

12回(5/1、5/26、6/29、7/31、8/29、9/28、10/31、11/27、12/26、1/29、2/26、3/30)

人事・事業運営並びに経営状況等について定例的な情報交換と協議を行い、本会の健全な経営に努めました。

<幹部会議>

12回(4/25、5/25、6/29、7/25、8/25、9/25、10/26、11/22、12/25、1/24、2/23、3/26)

幹部職員(各部署の主任以上の職員)において、介護保険事業の実施状況や経営状況並びに社協の事業についての情報の共有化を図り課題の改善策等について協議しながら経営の健全化に努めました。

(2)社協会費(自主財源)の確保

社協の自主財源である会費の確保について、町民各位並びに各事業所の理解と協力のもとに総額2,770,000円(介護・障害サービス収入を除く収入の3.7%)の実績をあげることができました。

<社協会費納入内訳>

会員区分	会費年額	会員数	会費額	備考
世帯会員	普通会員	1,416人 (-7人)	1,416,000円 (-5,000円)	@1,000*1,416人
	賛助会員	447人 (-8人)	894,000円 (-16,000円)	
	小計 ①	1,863人 (-15人)	2,310,000円 (-21,000円)	
団体賛助会員②	1口 5,000円	36事業所 92口	460,000円 (±0円)	
合計 ①+②			2,770,000円 (-21,000円)	

※()内は前年度対比

(3) 補助金及び委託金の確保

公的財源の適正且つ安定的な確保をめざし、田子町をはじめ青森県社会福祉協議会から助成金、補助金及び委託金の交付を受け事業を実施しました。

田子町や県社協等からの補助金並びに委託金の総額は 56,520,000 円(総収入の 34%)で、介護・障害サービス収入を除く収入の 77.2%となっています。

(4) 共同募金配分金

青森県共同募金会から地域福祉活動事業費として 1,030,000 円の配分金を受け、次のような事業を実施しました。

<共同募金配分金による事業>

事業名	配分額	備考
田子町社会福祉大会の開催	300,000 円	大会運営費
社協だよりの発行	245,000 円	2,300 部×3 回
福祉協力校活動費	250,000 円	町内 5 校のボランティア活動費
心配ごと相談事業	75,000 円	弁護士等の専門相談費用
ボランティア活動事業	160,000 円	ボランティア活動用ベスト等購入
合 計	1,030,000 円	

(5) 寄付金及び基金の果実

町民各位の福祉に対する深い理解と協力により、寄付金並びに物品が寄せられました。

また、第 51 回田子町社会福祉大会においてチャリティーバザーを開催し、社協関係者並びに町民各位の協力により 176,700 円の売上がありました。

- ・寄付金 9 件 136,110 円
- ・チャリティーバザー 1 件 176,700 円
- ・寄付物品 5 件 (食料品、薬用入浴剤、タオル等)

2. 介護保険事業の実施と福祉サービスの充実

(1) 介護保険事業の実施

ア. 居宅介護支援事業(田子町社協指定居宅介護支援事業所)

利用者本位のサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、介護支援専門員の資質の向上を図りながら利用者の自立支援に努めました。

介護支援専門員については、当初常勤専任を 4 人配置していましたが、6 月と 10 月にそれぞれ 1 名の退職者がありました。これにより介護支援専門員の補充採用に努めましたが、採用には至らず年度の後半は厳しい運営となりました。12 月に訪問介護事業から人事異動を行い対応しましたが、新規利用の受入の制限や減算請求をせざるを得ない月もあり収入に大きな影響を及ぼしました。

利用件数は、計画作成延べ件数が 1,254 件(月平均 104.5 件)、新規契約件数が 20 件(月平均 1.7 件)でいずれも前年度より大幅な減となっています。

介護支援専門員の不足と併せて、利用契約をしても介護サービス利用にならなかった、あるいは計画作成後すぐに施設入所になったケースもあり、収入は前年度より 2,255,000 円(11.7%)の減収となりました。

＜居宅介護支援事業実施状況＞

新規契約件数	20件 (-12件)
計画作成延件数	1,254件 (-151件)
1月当たりの計画作成件数	104.5件 (-12.6件)
住宅改修支援件数	2件 (±0件)
福祉用具購入等支援件数	5件 (-5件)

※()内は前年度対比

＜月別居宅介護計画作成件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	119 (-1)	111 (-5)	107 (-15)	108 (-13)	105 (-15)	104 (-16)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	108 (-6)	99 (-18)	98 (-18)	97 (-16)	94 (-16)	104 (-12)	1,254 (-151)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	4 (±0)	4 (±0)	4 (±0)	3 (-1)	3 (-1)	3 (-1)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	3 (-1)	2 (-2)	3 (-1)	3 (-1)	3 (-1)	3 (-1)	38 (-10)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員1人当たりの担当件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	29.8 (-0.2)	27.8 (-1.2)	26.8 (-4.5)	36.0 (+5.5)	35.0 (+5.0)	34.7 (+4.7)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	36.0 (+7.5)	49.5 (+20.2)	32.7 (+3.7)	32.3 (+4.0)	31.3 (+3.8)	34.7 (+5.7)

※()内は前年度対比

イ. 訪問介護事業(田子町社協指定訪問介護事業所)

職員の病気休暇等により年度途中で職員体制が大きく変動しながらも、ケアマネジャーを中心とする関係機関等と連携しながら、特に重度の利用者を抱える家族介護の負担軽減にも配慮し、利用者ができる限り在宅で安心して生活が継続できるようにサービスの提供に努めました。

今年度は、新規・再開利用者は22名ありましたが、重度利用者の冬期間のショートステイ利用延長や入院などにより長期の利用にはならないケースが多かった為に回数は増加することができず、前年度対比で2,469,010円(14.9%)の減収となりました。サービス別では、「身体介護」「身体生活」「生活援助」の利用回数が全て減収するという厳しい状況となりました。

障害者においては、利用者は昨年3月に1名増え5名になりましたが、障害施設等の利用もあって、訪問回数は前年度より55回減となり191,000円(18%減)の収入になりました。

＜訪問介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	居宅介護(障害)	計	
利用登録者	48人 (-4人)	4人 (+1人)	5人 (+1人)	57人 (-2人)	
実利用者数	37人 (+2人)	5人 (+1人)	5人 (±0人)	47人 (+3人)	
新規・再開利用者数	19人 (+6人)	3人 (+2人)	0人 (-1人)	22人 (+7人)	
延訪問回数	2,728回 (-362回)	118回 (+7回)	358回 (-55回)	3,204回 (-610回)	
サービス別訪問回数	身体介護	1,598回 (-278回)	-	0回 (-104回)	1,598回 (-278回)
	身体生活援助	588回 (-29回)	-	-	588回 (-1回)
	生活援助	542回 (-313回)	118回 (+7回)	358回 (+49回)	1,018回 (-255回)
延活動時間数	2,028時間 (-540時間)	108時間 (+8時間)	371時間 (±0時間)	2,507時間 (-532時間)	

※()内は前年度対比

＜訪問介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	25	25	25	28	26	22	23	24	25	26	25	24	42
	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4
延訪問回数	241	189	212	189	216	225	257	281	299	248	174	197	2,728
	12	8	8	7	4	4	4	8	13	14	16	20	118
身体介護	152	90	116	97	109	107	149	177	197	176	104	124	1,598
	52	54	55	54	55	61	59	62	53	28	22	33	588
生活援助	37	45	41	38	52	57	49	42	49	44	48	40	542
	12	8	8	7	4	4	4	8	13	14	16	20	118
延活動時間	190	152	180	151	156	173	189	197	199	171	124	146	2,028
	11	7	7	6	4	4	4	7	12	13	15	18	108

※実利用者数の計は年間の実利用者数 下段は介護予防

＜居宅介護サービス月別実施状況(障害)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
訪問回数(身体)	22	22	20	23	21	21	24	20	21	20	20	21	255
訪問回数(精神)	8	10	8	8	10	8	10	8	8	9	8	8	103

※実利用者数の計は年間の実利用者数

＜訪問介護事業月別キャンセル状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護・介護予防	18	20	24	14	31	15	15	7	12	25	19	5	205
居宅介護(障害)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0	6
計	18	20	25	14	31	15	15	7	12	27	22	5	211

単位:回

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	サービス提供責任者兼務 介護福祉士
サービス提供責任者	0人	1人	0人	1人	介護福祉士
訪問介護員	0人	2人	1人	3人	介護福祉士 1人 ヘルパー2級 2人
合計	1人	3人	1人	5人	

※H30.3.31 現在

ウ. 通所介護事業(田子町老人デイサービスセンター)

利用者の心身機能の維持向上を図り、社会参加を促進し日常生活が活性化するよう利用者個々の状態と家族の介護負担の軽減に配慮しながらサービスの提供に努めました。

今年度は、新規利用者が増えてはいるものの、利用者の体調不良などによる入院や死亡、キャンセルなども多く、重度化による介護負担軽減からショートステイ利用期間の延長、施設入所等もあり、延べ利用回数及び収入の増には繋がらず、利用者、延べ利用回数も前年度より 252 回減となりました。1日当たりの稼働率(障害を含む)は前年度より 1.8%減の 51.8%、1日当たりの平均利用者数は、前年度より 0.7 人減の 20.7 人となりました。

生活介護サービス(障害)の利用者は 1 人で計画通りの利用実績となっています。

＜通所介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	障害者自立支援	計
実利用者数	90人 (-7人)	7人 (+1人)	1人 (±0人)	96人 (-8人)
延利用件数	6,210回 (-266回)	146回 (+13回)	104回 (+1回)	6,460回 (-252回)
1日当たりの平均利用者数	19.9人 (-0.8人)	0.5人 (+0.1人)	0.3人 (±0人)	20.7人 (-0.7人)
稼働日数				312日 (-1日)
年間稼働率				51.8% (-1.8%)

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜通所介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	73	70	71	73	70	69	72	69	72	69	65	74	95
延利用件数	514	530	555	538	535	540	504	538	543	520	494	545	6,356
延食事提供数	502	523	542	525	524	536	498	525	532	508	484	534	6,233
延入浴介助件数	453	476	505	494	491	493	451	486	483	477	448	492	5,749
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	26	24	27	312
平均利用者数/日	20.6	19.6	21.3	20.7	19.8	20.8	19.4	20.7	20.9	20.0	20.6	20.2	20.4
稼働率(%)	51.4	49.1	53.4	51.7	49.5	51.9	48.5	51.7	52.2	50.0	51.5	50.5	50.9

※実利用者数の計及び稼働率の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数及び稼働率

＜通所介護事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
延利用件数	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	9	9	104
延食事提供数	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	9	9	104
延入浴介助件数	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	8	9	103

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜移動(送迎)支援事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
延利用件数	16	18	18	18	18	16	18	18	16	16	17	18	207
稼働日数	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	9	9	104

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜職員の配置状況＞

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	介護福祉士 社会福祉主事 相談員兼務
生活相談員	2人	0人	0人	2人	介護福祉士1人 社会福祉主事1人 介護職員兼務
看護職員	2人	0人	1人	3人	介護職員兼務 看護師2人 准看護師1人
介護職員	0人	6人	2人	8人	介護主任は相談員兼務 介護福祉士5人 ヘルパー2級3人
調理員	0人	1人	3人	4人	調理師1人 (配食サービス兼務)
計	5人	7人	6人	18人	

※H30.3.31 現在

エ. 訪問入浴介護事業(田子町社協指定訪問入浴介護事業所)

自宅での入浴が困難な高齢者や障害者に対し、デイサービスとの一体的な運営と調整を図りながら訪問による入浴サービスを提供し、利用者の心身機能の維持・活性化及び在宅での安楽な生活を送れるように努めてまいりましたが、昨年度から利用者が1名となったことから大きな減収になっていました。また、入浴車の老朽化もあり、事業の継続を検討していたところ、利用者が4月途中から通所介護へ移行したため現在は事業を休止している状況です。

＜訪問入浴介護事業実施状況＞

職員の配置状況	通所介護事業と兼務
実利用者数	1人 (-4人)
延利用件数	2件 (-96件)
稼働日数	2日 (-50日)
1日当たりの平均利用件数	1件 (-0.9件)

※()内は前年度対比

＜訪問入浴介護事業月別実施状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
延利用件数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
稼働日数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
平均利用件数/日	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

(2)在宅福祉サービスの充実

ア. 福祉有償運送事業(町補助事業)

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難又は移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象として、医療機関への送迎を中心に外出の利便を図り社会参加の支援に努めました。

登録者数及び実利用者数は減少しましたが、透析患者の方の定期利用が増えたことにより、利用件数は前年度対比で101件の増となっています。

＜福祉有償運送事業実施状況＞

登録者数	118人 (-2人)
実利用者数	83人 (-1人)
稼働日数	231日 (+13日)
延利用件数	1,109件 (+101件)

※()内は前年度対比

＜福祉有償運送事業月別実施状況＞

稼働月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	16	19	20	18	20	18	21	20	20	19	19	21	231
実利用者数	29	32	32	31	35	33	33	33	33	29	31	31	83
延利用件数	62	82	92	78	84	78	95	105	126	107	105	95	1,109
町内	44	56	65	54	62	63	61	85	84	74	68	51	767
三戸・南部	8	14	17	14	11	6	22	11	35	25	31	35	229
八戸市	0	1	0	4	1	0	2	1	0	0	2	0	11
その他	10	11	10	6	10	9	10	8	7	8	4	9	102

※実利用者数の計は年間の実利用者数

イ. 配食サービス事業(町委託事業)

調理の困難な高齢者や障害者へ栄養バランスの取れた食事を提供し、安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

今年度は毎日利用していた方の多くが死亡や施設入所となったことにより、大幅な食数の減となっています。

＜配食サービス事業実施状況＞

登録者数	40人 (-2人)
稼働日数	310日 (-1日)
延べ食数	4,513食 (-1,317食)
1日当たりの平均食数	14.6食 (-4.1食)

※()内は前年度対比

＜配食サービス月別実施状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
実利用者数	28	26	23	26	25	24	27	26	28	25	24	23	40
延食数	421	407	352	366	391	371	394	406	403	324	330	348	4,513
平均食数/日	16.8	15.1	13.5	14.1	14.5	14.3	15.2	15.6	15.5	13.5	13.8	12.9	14.6

※実利用者数の計は年間の実利用者数 単位:日数～日、実利用者数～人、食数～食

ウ. 福祉機器貸与事業

在宅介護を支援するため、福祉用具を無料で貸し出し、日常生活の援助に努めました。

＜福祉機器貸出状況＞

福祉用具	車椅子	電動ベッド	ギャッチベッド	平ベッド	エアマット
保有台数	10台(±0)	3台(±0)	12台(-1)	2台(±0)	1台(±0)
新規貸出数	3台(-2)	0台(-1)	0台(-4)	0台(±0)	0台(±0)
返却数	3台(-2)	0台(±0)	2台(-2)	0台(±0)	0台(±0)
貸出中の台数	4台(-2)	2台(±0)	10台(-2)	2台(±0)	1台(±0)

※H30.3.31 現在 ()内は前年度比

3. 地域福祉の推進

(1) ほのぼのコミュニティ 21 推進事業(町委託事業)

住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目指して、地域住民同士の見守り活動の体制づくりを進め、町の「田子町地域見守りネットワーク事業」と連携しながら、自治会、民生委員児童委員とともに日常での見守り体制の構築や事業の活性化に努めました。

また、保健師等の協力を得て健康づくりや介護予防の観点も取り入れて、地域と単身の高齢者等の交流や生きがいづくり、仲間づくりと合わせて見守り活動につながるサロン活動の推進とサロンを運営するボランティア(リーダー)の掘り起こしにも努めました。

更には、今年度から新たにスタートした町による「田子町地域介護予防活動支援事業」により、各サロンへの助成金が増加したことで地域におけるサロン活動がより活発になりました。

その結果、新たに3地区でサロンが実施され、全体の延べ回数も飛躍的に増えるなど、地域ごとのサロン活動や見守り活動への理解が広がりを見せています。

また、各自治会の協力のもと、多くの地区にほのぼの協力員を配置して個別の日常的な見守りの体制が整備されつつありますが、この体制が十分機能するよう、今後は、各地域の要支援者の実態把握と合わせて、地区ごとのほのぼの協力員体制の点検と具体的な活動の見直しを行い、見守り体制の再構築を進めることが課題となっています。

＜ほのぼの交流事業活動状況＞

協力員グループ数	55グループ (+8グループ)
協力員総数	130人 (+11人)
対象世帯総数	139世帯 (-4世帯)
情報交換会・事業説明・打合せ	22地区延24回 (-7地区 延-20回)
ふれあい交流会	0地区0回 (-1地区 延-1回)
ふれあいいいききサロン登録数	29グループ (+1グループ)
ふれあいいいききサロン	25地区延99回 (+3地区 延+61回)
ふれあいいいききサロン参加者数	延1,075人 (+382人)
交流協力員研修会	2回延80人 (-40回)

※()内は前年度対比

＜ふれあいいいきサロン開催状況＞

サロン名	行政区	実施回数	延参加者数(人)
向山女子会	向山	2	27
ほのぼの七日市サロン	七日市	2	42
野月ふれあいサロン	野月	3	42
種子お楽しみ交流会	種子	1	6
池振ふれあいサロン	池振	5	95
ニコニコ会	干草場	4	98
にしたてのふれあいサロン	西館野	8	93
先輩を囲む会	上野	2	48
宮野ふれあいサロン	宮野	6	103
細野ふれあいサロン	細野	10	183
根渡ふれあいサロン	根渡	1	10
本町笑いの会	北側・南側	7	127
中本町ふれあいサロン	中本町	5	52
下本町ふれあいサロン	下本町	4	58
サンモールぽかぽかサロン	サンモール	2	32
雀ヶ平ふれあいサロン	雀ヶ平	6	82
のもてふれあいサロン※	野面	4	44
飯豊サロン	飯豊	3	31
原スマイルサロン	原	1	25
石亀地区サロン	石亀	6	212
杉本ふれあいサロン※	杉本	1	10
嘉沢にこにこ会	嘉沢	5	47
関ふれあいサロン	関	7	176
遠瀬いきいきサロン※	遠瀬	3	44
新田ふれあいサロン	新田	1	18
計	25 地区	99 回	1,705 人

※は新規

(2)心配ごと相談事業

民生委員4人を相談員として委嘱し、毎月第3火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。

相談にあたっては相談者の利便性やプライバシーを考慮し、事前の予約で相談者の希望する場所に向いて相談を受けることもできる体制をとり、ケーブルテレビや社協だよりを活用して事業のPRの強化を図りました。

また、定期的相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間3回設けたほか、日常の相談については随時事務局で対応しました。

<相談事業実績状況>

年間開設日数	15日(±0日) ※専門相談日3日を含む
相談実日数	33日(-21日)
延相談利用者数	33人(-21人)
実相談内容件数	33件(+2件 ※再来17件)
延面接所要時間	1,300分(-1,900分)
1件あたりの所要時間	39分(-20.25分)

※()内は前年度対比

<相談内容別処理状況>

相談内容	件数	解決	再来	他機関	その他	支援中/ 未解決
生計に関すること	21	2	17	4	0	0
住宅に関すること	2	2	0	0	0	0
家族に関すること	8	1	0	0	0	7
離婚に関すること	1	0	0	1	0	0
健康・保健・衛生に関すること	2	2	0	0	0	0
医療	8	0	0	8	0	0
人権・法律に関すること	7	6	2	0	0	0
財産に関すること	2	1	0	1	0	0
障害者(児)福祉	1	0	0	1	0	0
その他	1	0	0	0	1	0
合計	53	14	19	15	1	7

※複数の項目に該当するものについては各件数に集計されるため、実相談内容件数と差異あり

<専門相談実施状況>

専門相談開催日	弁護士氏名	相談者数
平成29年5月31日	中村・澤村法律事務所 澤村康治弁護士	3人
平成29年9月27日	たいよう総合法律事務所 上野大輔弁護士	1人
平成30年2月7日	たいよう総合法律事務所 安藤祥吾弁護士	2人

<心配ごと相談員並びに運営委員合同会議>

日時	平成30年3月13日(火) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	平成29年度心配ごと相談状況報告について 平成30年度心配ごと相談所運営について

(3)福祉安心電話事業(緊急通報システム)

単身の高齢者や高齢者のみの世帯・身体障害者世帯などを対象に、地域の社会資源を有効に活用するとともに近隣の住民はもとより地域の関係機関・団体とのネットワーク化を図りながら、電話を媒体とした「緊急通報システム」を形成して、対象者の緊急時の対応と日常の安心感を得るよう努めました。

また、町からの補助により新規利用希望者に備え安心電話を13台購入したほか、全ての利用者宅を訪問し、電話機器の更新及び安否確認及び相談を行いました。

さらには、ほのぼの協力員との合同研修会及び利用者と協力員の交流会を実施し、事業についての理解を深めました。

＜福祉安心電話設置状況＞

新規設置台数	5台 (-2台)
取り外し台数	1台 (-2台)
更新台数	0台 (-14台)
設置世帯総数	27台 (+4台)
協力員数	84人 (+8人)

※()内は前年度対比

＜相談・緊急通報状況＞

緊急	2件 (+2件)
相談	1件 (-2件)
連絡(お元気コール)	73件 (+44件)
誤報	2件 (-4件)
その他(機器試験)	8件 (-20件)
計	86件 (+20件)

※()内は前年度対比

＜福祉安心電話利用者・協力員交流会及び研修会＞

日 時	平成 29 年 11 月 21 日(火) 午前 9 時 30 分～午後 4 時
場 所	八戸市 グランドサンピア八戸での交流会
内 容	社協事業説明(福祉安心電話、ほのぼのコミュニティ 21 推進事業等)と情報交換会

(4)会食交流事業(寄りあいっこ)

65 才以上の高齢者を対象に毎月 1 回、外出と集いの場を提供し、閉じこもり予防や仲間づくりの支援を図るとともに、様々な活動を通して、生きがいの高揚、身体的・精神的機能低下の予防にも努めました。

＜会食交流事業実施状況＞

開催回数	10回 (-1回)
登録者数	92人 (-1人)
延参加者数	365人 (-65人)

※()内は前年度対比

＜会食交流事業実施状況＞

開催月	参加者数	主な場所	主な内容
5月	55人	鶴田町	鶴の舞橋、富士見湖パーク散策
6月	51人	七戸町・十和田湖	十和田湖、東八甲田ローズカントリー散策
7月	27人	田子町	町老連シニアレクリエーション、グラウンドゴルフ交流会
8月	36人	田舎館村	田んぼアート見学
9月	40人	八幡平市	ガーデニングランチ、カートレース
10月	38人	八戸市南郷区	南郷・山の楽校そばづくり体験、青葉湖散策
11月	40人	十和田市	劇団四季 ミュージカル観劇
12月	30人	青森市	県老連研修会・「津軽伝統 金多豆蔵人形芝居」観劇
1月	10人	田子町	田子幼稚園おしるこ会
2月	38人	五戸町	アピル五戸 バレンタインランチバイキング
合 計	365人		

(5) 高齢者生活福祉センター事業(町委託事業)

高齢や障がい等のため居宅において生活することに不安のある者に対し、介護支援機能、緊急時支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者等が安心して生活を送れるよう支援しました。夜間及び休日等の緊急時は、「老健たっこ」と連携し対応しました。

<高齢者生活福祉センター利用状況>

申請者数	14世帯 (+3世帯)
実利用世帯	12世帯 (+1世帯)
・単身	12世帯 (+1世帯)
・夫婦	0世帯 (±0世帯)
延利用者数	54世帯 54人 (-8世帯 -8人)

※()内は前年度対比

<高齢者生活福祉センター月別利用状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	9	5	1	0	1	0	1	2	9	9	9	9	12人
延利用日数	240	142	11	0	0	0	14	24	271	279	252	279	1,512日

※実利用者数の計は年間の実利用者数

(6) 低所得世帯の援助

ア. 生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口との連携のもとに各種資金の相談・償還指導を行ない世帯の自立援助に努めました。一方、近年の社会経済の低迷と償還に対する認識が低い借受人及び連帯保証人もあり、長期滞納者の増加に伴い償還指導は年々困難になっています。しかし、本制度の趣旨に鑑み、貸付の必要な世帯が適切に利用できるよう制度のPRと貸付の相談や償還指導による世帯の自立更生の支援の強化が必要となっています。

<年度末貸付総件数>

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
教育支援資金	8件	1,381,129円	1,149,289円
更生資金	1件	700,000円	251,000円
福祉資金	1件	2,050,000円	924,980円
計	10件	4,131,129円	2,325,269円

※H29.3.31 現在償還中を含む

<生活福祉資金貸付調査委員会>

日時	平成30年3月13日(火) 午後2時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	生活福祉資金貸付及び償還状況について

イ. たすけあい資金貸付事業

わずかな出費で生活が脅かされるような低所得者に対して「生活資金」の貸付を行い安定した生活を送れるように援助しました。しかし、長期滞納者が多くなっており、世帯状況の調査と合わせて償還に対する意識づけを促しながら世帯の自立につながるような支援が必要となっています。

<たすけあい資金新規貸付状況>

資金の種類	件数	金額
生活資金	4件	100,000円

ウ. 生活困窮者自立相談支援事業への協力

生活困窮者等の自立支援に向けて、三戸地域自立相談窓口(NPO 法人ワーカーズコープ)と連携し、対象となる世帯等の情報提供や同行訪問、会議への出席など、相談者の自立支援・協力を行いました。

<相談支援の状況>

支援調整会議	2回
進捗状況報告会	7回

エ. フードバンク事業

青森県社会福祉協議会が実施するフードバンクシステムにより食品等は無償で譲り受け、また、個人や団体等から寄付された食品を自立支援を目的に生活に困窮する世帯へ提供しました。

<提供状況>

提供者数	5名
提供回数	14回

(7) 老人福祉センター管理事業(指定管理者制度)

パート職員を2人配置し、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。

また、老人福祉センターの利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修会の支援を行い高齢者の健康保持、福祉の増進に努めました。

なお、今年度は浴槽の改修があったため、延利用者数は前年度より622人減りました。

<老人福祉センター利用状況>

開所日数	246日 (+1日)
延利用者数	10,337人 (-622人)
平均利用者数/日	38.6人 (-2.5人)

※()内は前年度対比

(8) 在宅介護者の支援

在宅で高齢者や障害者の介護をされている方々が同じ立場の方々とお互いの体験や悩みなどを話し合ったりしながら心身のリフレッシュを図るために、ケアマネジャーや各施設の協力のもと日帰り旅行を行いました。

日時	平成30年3月12日(月) 午前9時30分
場所	おいらせ町「アグリ」の里おいらせ、「桃川株式会社」
参加者	8人(介護者6人 ケアマネジャー・事務局)

(9) 地域福祉活動計画の策定

地域の福祉課題の解決に向けた住民主体を基本とした取り組みの行動計画である「第3次田子町地域福祉活動計画」の策定を行いました。

計画の策定にあたり、20歳代から70歳代の年代別に「福祉に関する意識調査」を実施した他、各方面の委員からなる地域福祉活動計画策定委員会を設置することで、多くの方々からの意見・提言・協力を得ながら策定作業を進めることができました。

＜福祉に関する意識調査＞

調査対象者	田子町民 130 名(平成 29 年 8 月の住民台帳から無作為に抽出)
調査方法	郵送により配布・回収
調査期間	平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日
回収結果	有効回答数 84 件(回収率 64.62%)

＜田子町地域福祉活動計画策定委員会 4 回＞

○第 1 回地域福祉活動計画策定委員会

日 時	平成 29 年 8 月 31 日(木) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	・委嘱状の交付 ・委員長、副委員長の互選 ・作業部会の設置について ・研修会「地域福祉活動計画とは」 講師 青森県社会福祉協議会 地域福祉課 課長代理心得 今伸子氏

○第 2 回地域福祉活動計画策定委員会

日 時	平成 29 年 11 月 6 日(月) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	・現状及び課題の把握について

○第 3 回地域福祉活動計画策定委員会

日 時	平成 30 年 2 月 22 日(木) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	・素案について

○第 4 回地域福祉活動計画策定委員会

日 時	平成 30 年 3 月 28 日(水) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	・素案について

＜田子町地域福祉活動計画策定委員会作業部会 4 回＞

○第 1 回作業部会

日 時	平成 29 年 9 月 20 日(水) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	・委嘱状の交付 ・部会長、副部会長の互選 ・地域福祉活動計画について

○第 2 回作業部会

日 時	平成 29 年 10 月 11 日(水) 午後 1 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	・現状及び課題の把握

○第3回作業部会

日時	平成29年12月7日(木) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	・課題分析 ・素案について

○第4回作業部会

日時	平成30年2月9日(金) 午後1時30分
場所	せせらぎの郷 会長室
案件	・素案について

(10) 高齢者・障がい者等の自己実現に向けた基盤整備事業(県社協指定事業)

青森県社会福祉協議会からの助成により、使用されていなかった老人福祉センターの厨房を活用し、田子町手をつなぐ育成会会員の方々を中心に料理教室を開催しました。

○第1回料理教室

日時	平成30年2月3日(土) 午前9時30分
場所	田子町老人福祉センター 調理室
内容	ピザ作り 講師 カフェ メラローサ 奥山綾乃氏
参加者	17名

○第2回料理教室

日時	平成30年3月10日(土) 午前9時
場所	田子町老人福祉センター 調理室
内容	ナンとカレー作り 講師 カフェ メラローサ 奥山綾乃氏
参加者	10名

(11) 相談援助技術実習(社会福祉士)の受入れ

社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を受け入れ、現場実習を通してソーシャルワーカーとして必要な知識や技術を習得できるよう努めました。

○仙台医療福祉専門学校 通信課程(社会人) 1人

平成29年5月15日～平成29年11月17日(合計15日間 120時間)

○仙台医療福祉専門学校 通信課程(社会人) 1人

平成29年8月7日～9月11日(24日間 192時間)

4. 福祉教育・ボランティア活動の推進と情報提供

(1) ボランティアの育成

ともに支えあい、ともに築く福祉の町づくりをめざし、地域住民の参加による福祉活動を推進するため、各種ボランティアの育成に努めました。しかし、福祉ボランティアだけでなく、住民が多様なボランティア活動に参加できるような体制が十分に整っていないため、今後は、町や社会教育の分野をはじめとする関係機関と連携しボランティアセンター(機能)を構築していく必要があります。

＜ボランティア登録状況＞

社協事業登録ボランティア	個人 272 人 (ほのぼの協力員、福祉安心電話協力員、福祉協力員)
デイサービスボランティア	個人 1 人 (±0 人)
配食サービスボランティア	個人 1 人 (±0 人)
寄りあいっこボランティア	個人 1 人 (-1 人)
その他のボランティア	1 団体 26 人 (±0 団体 -3 人)

(2) 児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の各学校(小学校 3 校、中学校 1 校、高校 1 校)を福祉協力校として指定し、活動費として 1 校当たり 5 万円を助成し福祉活動の支援を行ったほか、ボランティア協力校の連絡会議を開催し各学校との連絡調整と活動の支援を行いました。

＜福祉協力校連絡会議＞

日 時	平成 29 年 5 月 9 日(火) 午後 3 時 30 分
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	福祉教育メニューについての協議・意見交換

＜福祉協力校活動支援内容＞

平成 29 年 9 月 25 日	上郷小学校	3、4 年生を対象に点字教室を実施
平成 30 年 1 月 25 日	田子中学校	3 年生を対象に高齢者疑似体験を実施

(3) 啓発宣伝事業

ア. 社会福祉大会の開催

町民の福祉意識の高揚と、地域福祉の推進を図るために、第 51 回田子町社会福祉大会を開催しました。式典後には、認知症について幅広く理解を得るために講演と寸劇を行い、また、恒例となった学童保育児童による参加者全員へのプレゼント作りやチャリティーバザーの他、地域住民(サロン活動)による作品展示販売、社協関係者、民生委員児童委員、各種団体及び一般町民など多くの方の参加、協力を得て実施しました。

＜第 51 回田子町社会福祉大会＞

日 時	平成 29 年 11 月 14 日(火) 午後 12 時 55 分
場 所	田子町中央公民館
内 容	・大会式典(受賞者 9 名 2 団体) ・講演 十和田市立中央病院 メンタルヘルス科診療部長 竹内淳子氏 ・寸劇 じゅんちゃん一座 ・福祉施設作品展示販売・サロン作品展示販売・チャリティーバザーなど
大会参加者	約 150 人(社協関係者・民生委員児童委員・各種団体・一般町民)

イ. 広報活動

「社協だより」を 3 回(1 回 2,300 部)発行し、ケーブルテレビの活用により社協事業及び福祉活動の啓発宣伝に努めました。

(4) 高齢者世帯等奉仕活動事業

消防署・警察署・東北電力・防犯協会を協力機関とする「田子町高齢者世帯防火・防犯奉仕活動協議会」により、高齢者世帯等を訪問し、安否確認や防犯指導、さらに電気設備・防火面での点検と簡単な修繕を行い対象世帯が安全で安心な生活ができるよう努めました。

日 時	平成 29 年 12 月 4 日(月) 午後 1 時 30 分
対象世帯	単身又は高齢者、障害者のみの世帯 6 世帯
参加者	11 人 (田子消防署 2 人、田子駐在所 2 人、東北電力 4 人、田子町防犯協会 1 人、田子町社会福祉協議会 2 人)

(5) 福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員(52 人)を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラシ配布など本会と地域とのパイプ役として多大な協力をいただきました。

また、本会事業に対する理解を深めるため、福祉協力員とほのぼの協力員を対象に研修会を開催しました。

<福祉協力員研修会(ほのぼの協力員・福祉協力員合同研修会)>

日 時	平成 29 年 7 月 13 日(月) 午後 1 時 30 分
場 所	田子町中央公民館 ホール
研修内容	第一部 ほのぼのコミュニティ 21 推進事業について ほのぼの協力員の役割について 第二部 福祉協力員の役割について 社協会費の集金方法について(社協会費納入書の配布) 社協の事業について

5. 共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関の協力により次のような実績を収めることができました。

<赤い羽根共同募金実績>

赤い羽根共同募金総額	1,341,194 円
個別募金(1,842 世帯)	1,239,646 円
職域募金(21 件)	51,797 円
イベント募金 2 回 (町福祉大会・にんにくとべごまつり)	30,550 円
学校募金(5 校)	17,561 円
県共募からの振替(チャリティーオークション)	1,640 円

6. 田子町学童保育事業・子育てサロンの実施

(1) 田子町学童保育事業の実施(指定管理・町委託事業)

田子町の指定管理者として「すくすく館」を、委託事業として「すくすく館田子分館」「すくすく館上郷分館」、合わせて3ヶ所の「学童保育事業」に取り組みました。

町内の小学校に通う児童で、保護者が就労等により昼間家にいない児童を対象として、平日の放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業期間に保護者と児童が安心して利用できる「遊び」と「生活」の場を提供し、子どもの健全育成を図るため、保護者会(すくすく倶楽部)の支援をしながら相互に協力して事業を実施しました。

年間を通して指導員の確保と定着が非常に難しい状況にありましたが、「児童の安全」と「安心して居ることができる場所づくり」を心がけて、日常の遊びなどのほか、毎月の誕生会、バス遠足や季節の行事などを通して自主性、社会性、創造性を培いながら児童の健全育成に努めました。

また、今年度も、引き続き清水頭小学校の学童利用児童の平日の送迎(1・2年生のみ学童への送り)を行いました。

さらに、上郷分館では、冬期間を除き、高齢者のボランティアの協力のもとに伝承遊びなどを通じた交流を毎月実施したほか、上郷公民館や周辺のゴミ拾いを通じ、少しですが地域に貢献する第一歩にもなりました。

<学童保育実施状況>

項目		すくすく館	すくすく館田子分館	すくすく館上郷分館
定員数		70名	20名	20名
開設時間	月～金曜日	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分
	土曜日・長期休み 及び学校休業日	午前7時15分～ 午後6時40分	午前7時15分～ 午後6時40分	午前8時～ 午後6時40分

<学童保育登録児童数>

項目	施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通常	田子	53	53	53	53	52	52	54	53	53	53	54	55
	分館	21	21	22	22	22	22	22	21	20	20	20	20
	上郷	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	計	89	89	90	90	89	89	91	89	88	88	89	90
長期のみ	田子	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	1	2
	分館	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	上郷	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	7	7	7	8	7	7	7	8	8	8	7	8
一時利用	田子	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1
	分館	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3
	上郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	2	2	2	2	2	2	4	5	5	5	4
在籍児童数	田子	55	55	55	56	54	54	56	57	57	57	57	58
	分館	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	上郷	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	計	98	98	99	100	98	98	100	101	101	101	101	102

※田子～すくすく館、分館～田子分館、上郷～上郷分館 単位:人

<学童保育利用状況内訳>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実利用児童数	田子	54	54	52	54	55	52	52	53	55	55	52	54	—
	分館	22	21	22	27	27	19	18	20	22	20	16	17	—
	上郷	16	15	15	16	16	15	15	15	16	16	15	16	—
実施日数	田子	24	23	26	25	24	24	24	24	23	23	23	26	289
	分館	24	23	26	25	24	24	24	24	23	23	23	26	289
	上郷	24	23	26	25	23	24	25	24	23	23	23	26	289
延利用児童数	田子	863	818	963	893	771	853	881	896	863	753	793	821	10,168
	分館	302	266	296	339	313	236	235	220	239	203	190	181	3,020
	上郷	309	274	314	320	279	283	290	289	276	254	249	304	3,441
一日平均利用児童数	田子	40.0	35.6	37.0	35.7	32.1	35.5	36.7	37.3	37.5	32.7	34.5	31.6	35.2
	分館	12.6	11.6	11.4	13.6	13.0	9.8	9.8	9.2	10.4	8.8	8.3	7.0	10.4
	上郷	12.9	11.9	12.1	12.8	12.1	11.8	11.6	12.0	12.0	11.0	10.8	11.7	11.9

単位:人

<延指導員配置数>

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
田子	103	107	129	116	122	109	116	111	111	113	111	127	1,375
	4.3	4.7	5.0	4.6	5.1	4.5	4.8	4.6	4.8	4.9	4.8	4.9	4.8
分館	62	47	57	53	78	53	49	51	52	56	48	60	666
	2.6	2.0	2.2	2.1	3.3	2.2	2.0	2.1	2.2	2.4	2.1	2.3	2.3
上郷	52	49	54	58	84	51	51	48	57	58	47	61	670
	2.2	2.1	2.1	2.3	3.7	2.1	2.0	2.0	2.4	2.5	2.0	2.3	2.3
計	217	203	240	227	284	213	216	210	220	227	206	248	2,711
	9.0	8.8	9.2	9.1	12.0	8.9	8.9	8.8	9.6	9.9	9.0	9.5	9.4

※下段は1日当たりの員数 単位:人

(2)子育てサロンの実施(就学前の子どもと保護者対象)

子育て中の保護者や子育てに関わっている方とその乳幼児を対象に、親子の交流、情報交換やリフレッシュの場を提供し子育て支援を行うために学童保育施設「すくすく館」を活用して子育てサロンを実施しました。

「自由に出かけて集える場所づくり」と「仲間づくり」を心がけ、週 2 回施設を開放し、ベビーマッサージの体験やクリスマス会、親を対象とした制作なども実施しました。

母親の復職や保育園への入園により昨年度末に一度利用者は減りましたが、ベビーマッサージや行事をきっかけに再び参加してくれることにより、今年度は 20 世帯が登録となりました。

また、町の広報誌へ記事を掲載したことで、見学に来てくれる方や電話での問い合わせもありました。さらには保健師と協力し、相談日を設けることで気軽に相談できる体制を整備しました。

他町村の子育てサロンと合わせて利用している方もいる中、親子で出かける場所があること、ゆっくりとした時間を過ごしリフレッシュできること、親同士のつながりができることが良いとの感想も聞かれるなど一定の成果が見られました。

一方、開設日数の増や開設時間の延長を求める声もあり、より利用しやすいサロン実施に向けた対応が必要となっています。また、現在ほとんどの登録者が育児休業明けにより保育施設に子どもを預ける予定であり、今後急激に利用者数の減少が見込まれるため、さらに広く周知を図っていく必要があります。

<子育てサロン実施状況>

開催日時	毎週火・木曜日 午前 10 時～午後 12 時
開催場所	すくすく館
実施日数	73 日
登録世帯数	20 世帯(子ども 20 名)
延利用世帯数	123 世帯
1 日平均利用世帯数	1.9 世帯(子ども 1.9 名)

<子育てサロン月別実施状況>

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用世帯数	1	2	8	2	2	2	2	8	9	4	6	9	20 世帯
延利用者数 (下段は子供の数)	2	6	16	6	4	9	8	14	20	6	15	18	124 人
	2	6	16	6	4	9	8	14	19	6	15	18	123 人
実施日数	2	6	10	6	3	8	8	8	6	3	7	6	73 日
延利用世帯数	2	6	16	6	4	9	8	14	19	6	15	18	123 世帯

7. 福祉団体の育成

当事者や家族の会である 4 つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会の開催、スポーツの振興など県や郡の関係機関と連携しながら会の指導育成に努めました。

○田子町老人クラブ連合会

○田子町身体障害者福祉会

○田子町手をつなぐ育成会

○田子町共同募金委員会